

「葛飾区無電柱化推進計画（素案）」に係る区民意見提出手続きの 実施結果について

1 実施期間

平成 31 年 3 月 25 日（月）～平成 31 年 4 月 23 日（火）

2 実施場所

調整課、区政情報コーナー、区民事務所（6 か所）、区民サービスコーナー（4 か所）、図書館（1 2 か所）、男女平等推進センター、区ホームページへの掲載

3 意見数等

意見総数 4 件

意見提出者数 3 人

（内訳）

電子申請	F A X	郵 送	窓 口
1 人	0 人	1 人	1 人

4 提出された意見の取扱い

計画（案）に取り入れるもの 0 件

計画（素案）に盛り込まれているもの 1 件

意見・要望としてお聞きし今後の参考にするもの 3 件

5 「葛飾区無電柱化推進計画（素案）」に対する区民の意見の要旨と区 の考え方

別紙のとおり

「葛飾区無電柱化推進計画（素案）」に対する区民の意見の要旨と区の考え方

【取扱い凡例】 ◎：計画(案)に取り入れる ○：計画(素案)に盛り込まれている △：意見・要望としてお聞きし今後の参考にする

第2章 無電柱化の整備手法と課題に関するもの

No.	意見の要旨	区の考え方	取扱い
1	<p>都心部を中心に既存の道路の地中空間は占用物が輻輳しており、占用物の維持管理のためのスペース確保は大変難しい状況となっている。今後、無電柱化が進むと、さらに地中空間のスペース確保が困難となる。</p> <p>低コスト手法として挙げられている「浅層埋設方式」の導入が進み既存ガス管の直上付近に電線が敷設されると、ガス管の維持管理が困難となる可能性があり、区民の皆様への都市ガスの安定供給が阻害されることにつながりかねない。</p> <p>以上のことから、無電柱化の検討にあたっては、電線の占用条件（埋設深さ、他埋設物との離隔等）を明確にし、情報開示を行うなど、適切な運用に向けた取組み・検討をお願いしたい。</p>	<p>既存道路の地中空間における占用物の状況は、現場によって異なるため、無電柱化の検討にあたっては、既設埋設物調査や配線計画の調整を実施するとともに、適時、各占用企業者へ電線の占用条件等の情報提供を行いながら進めてまいります。</p>	△
2	<p>葛飾区内の道路は歩道がない所や歩道が狭いところが多いため、公園や民有地を活用する道路区域外活用方式で無電柱化を進めてほしい。</p> <p>ソフト地中化方式は、柱を立てて変圧器を設置する方式であり街路灯の設置場所として活用もできるため、街路灯の少ない場所では防犯上の面からも有効な整備手法であると思う。</p>	<p>葛飾区内の多くを占める道路は、素案P17に記載のとおり道路区域内に地上機器の設置場所を確保するのが困難です。そのため、素案P21に記載のとおり道路区域外活用方式を基本に無電柱化を進めてまいります。</p> <p>また、現場の状況にあわせて、ソフト地中化を含めた様々な整備手法についても検討してまいります。</p>	○

【取扱い凡例】 ◎：計画(案)に取り入れる ○：計画(素案)に盛り込まれている △：意見・要望としてお聞きし今後の参考にする

第6章 無電柱化の推進に向けて今後検討が必要な施策等に関するもの

No.	意見の要旨	区の考え方	取扱い
3	<p>無電柱化の推進にあたっては、路上工事や関係埋設企業者間の調整業務の増加により、工事進捗等に影響を及ぼし、区民の生活に影響を与える可能性がある。</p> <p>そのため、電線地中化の整備計画に際しては、関係する企業者等への影響なども考慮し、推進体制を整備した上で、計画的に推進していただくよう要望する。</p>	<p>無電柱化の推進にあたっては、工事進捗等に影響を及ぼさないように、企業者調整会議や道路工事調整会議を通して、電線地中化の整備計画策定段階から各占用企業者と整備手法や工程等の調整を密に行い、計画的に無電柱化を推進してまいります。</p>	△

【取扱い凡例】 ◎：計画(案)に取り入れる ○：計画(素案)に盛り込まれている △：意見・要望としてお聞きし今後の参考にする
 そのほか 葛飾区における無電柱化事業の在り方に関するもの

No.	意見の要旨	区の考え方	取扱い
4	<p>電柱や電線がなくなり、景観が良くなるのは理解できる。しかし、葛飾区は水害の被害を経験しているため、電気設備を地中化するという点において、防災の面では課題があると思う。</p> <p>多額の税金を投入して、震災と水害の面で不安の残る公共工事は、再考すべきである。</p>	<p>無電柱化事業は素案 P1 のとおり、安全・防災・景観の観点から重要な事業です。</p> <p>一方、ご指摘のとおり大規模水害が発生した場合、電気設備への浸水により局所的に停電する可能性があります。</p> <p>こうしたことから、素案 P40 のとおり、災害を想定した電力・通信配線などの復旧方法について、電線管理者と連携し、検討を進めてまいります。</p>	△